

石川町と県立石川高校が取り組む いしかわ高校魅力化プロジェクトが始動!



プロジェクト 通信	いしかわ	高校魅力化
		
Vol. 01		
2023.2 FEBRUARY		

石川町のみなさん、初めまして。石川町高校魅力化コーディネーターの増成育恵と申します。昨年4月に着任し、主には県立石川高校が取り組む「いしかわ WORK & LIFE 教育」の推進に高校の先生方と一緒に取り組んでいます。今後この通信で、

いしかわ高校魅力化プロジェクトの「いま」を石川町のみなさんにお伝えしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

初回となる本号では、いしかわ高校魅力化プロジェクトの概要と、県立石川高校のいまについてお伝えできればと思います。

いしかわ高校魅力化プロジェクトとは？

今年開校100年を迎える福島県立石川高等学校は、石川郡内唯一の高校としてこの地域における教育を担ってきました。しかし、過疎化・少子高齢化の進行により生徒数は減少を続けており、各学年のクラス数が令和6年度から段階的に1クラスに減っていくことが予定されています。石川町は県立石川高校の存続が地域の担い手を育むことにも直結するものと考えており、生徒数減少など県立石川高校が抱える問題を、石川町行政・地域・高校が一体となって解決することを目指し、2022年4月にいしかわ高校魅力化プロジェクトをスタートさせました。

県立石川高校の存続、より魅力ある学びを



地域活動ではグループ単位での活動も多く、グループで議論したり意見をまとめたりする機会も多々あります

プロジェクトの初年度となる2022年度は、県立石川高校で以前より取り組んできた「いしかわ WORK & LIFE 教育」の魅力化に着手しました。これまでも町内の事業所での職業体験や石川町のまちづくりに関する活動を行ってきましたが、取り組みを発展させ石川町・石川郡という地域を舞台にした様々な学びを通して高校生が自分自身の可能性を広げるとともに、地域の担い手を育てていくことを目指しています。さらに今後は、高校生が思い通りに過ごすことのできる地域のなかの居場所づくりや、地域と学校の協働体制づくり、教員をはじめとしたプロジェクト関係者の研修実施にも取り組んでいく予定です。この通信で取り組みの近況をお伝えしていきますので、県立石川高校の魅力ある学びづくりにぜひ皆さんの力をお貸しください。

裏面では、いしかわ WORK & LIFE 教育における高校生の活動の様子をお伝えできればと思います。

コーディネータープロフィール



増成育恵
ますなりいくえ

1986年新潟県生まれ。亜細亜大学経営学部ホスピタリティ専攻卒。製造会社で営業を経験、2015年4月から玉川村地域おこし協力隊として着任するため福島県へ移住。任期満了後、玉川村観光物産協会を経て2022年4月より、一般社団法人未来の準備室へ入社し、現在に至る。また、豊国酒造(古殿町)kuranoba管理人としても従事。

一般社団法人未来の準備室 © 高等教育機関のない地域の課題解決に向けてコミュニティ・カフェ EMANON (白河市)での実践・研究を核に、キャリア教育やまちづくり、地方創生などの分野で事業を行う。2022年度より、福島県立石川高等学校高校魅力化推進事業を受託。ホームページ: <https://junbishitsu.jp>

いしかわWORK&LIFE教育

今年度のいしかわ WORK&LIFE 教育では、高校生が地域を知り、地域で学ぶことを通して、自分自身の興味関心に気づき進路選択に生かしていけるよう、地域の方々にも協力いただきながら学年ごとに様々な活動に取り組んできました。1・2年生では、全国の高校で新たに始まった「総合的な探究の時間」の授業時間を活用しています。

#01 「まちあるきツアー」など、石川町への理解を深めてきた1年生

1年生は、総合的な探究の時間での初めての活動として「石川町まちあるきツアー」を実施。町内の企業や施設なども訪れ、県立石川高校が所在する石川町にどんな場所や歴史があるのか学びました。町外から進学してきている高校生もいるため、これから3年間を過ごす石川町への理解を深めている様子でした。2学期には、県の主導する「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」の一環として、震災や復興に関する学習を実施。現在の高校1年生は、震災当時4歳だった世代です。町内の方々から震災当時の様子を教えていただきながら、震災当時の石川町のことを学びました。他にもコミュニケーションの練習として、グループ活動や朗読劇なども行い、2年生から学校の外に出てさまざまな方々と取り組むプロジェクト活動に向けての準備を行ってきました。



#02 4つのグループに別れて活動。地域の企業や農家と協働した商品開発も

2年生の総合的な探究の時間では、4つの「MOTTA IN A」をテーマに「食」「環境」「エネルギー」「時間」という各グループに分かれて活動しています。

「環境」グループではゴミ拾いや石川町のきれいな場所を写真に収め掲示する活動を行いました。また「エネルギー」グループでは、朝顔とゴーヤによるグリーンカーテンを作り涼しい環境づくりを、「時間」グループは他のグループが活動に専念し、時間を有効活用できるように記録を取りました。

「食」グループでは現在、3種類の商品開発を進行中。カヌレをホズミソラさん、どらやきをお菓子のさかいさん、アップルパイを郷隆果樹園さん・里のカフェさんに協力いただきながら試作を続けています。



#03 20人超の高校生が、町内企業で2年間の事業所実習

県立石川高校には、希望する進路に応じて「キャリアグループ」「発展学習グループ」「学力向上グループ」「技術向上グループ」の4グループがあります。そのうちキャリアグループに所属する2・3年生は週に一度、町内の事業所に通い実習を通して働くことの意味やマナーを学んでいます。2年間に渡り企業で実習を行うこの取り組みは、他校でもあまり例のない珍しい取り組みですが、実は県立石川高校では平成28年から行っています。今年も町内20以上の事業所さんに協力いただき、実習を行っています。

石川町と県立石川高校が取り組む魅力化事業について、この通信で石川町の方々に少しでも知っていただき、興味を持っていただけたらと思います。発行を楽しみにしてもらえよう通信をお届けできるよう頑張っていきます！

ご感想やご質問はこちらまで

住所：〒963-7893 福島県石川郡石川町字長久保185-4 石川町役場企画商工課
メールアドレス：ishikawa@junbishitsu.jp (石川町高校魅力化コーディネーター宛)